

キラリ 輝け 山陽中 No.2 (26.04.08) 文責 内海雅章

「令和8年度 入学式」入学おめでとうございます。

4月8日(水) 入学式、学校長式辞より

入学し、有意義な中学校生活を送るために、私から、三つのお願いをします。

まず一つ目は、先生の指導、親の言うこと、地域の言葉には素直に従う、何よりもまず、このことを皆さんに求めておきたいと思います。山陽中学校の先生方が卒業までを見通し、学習・生活両面にわたり丁寧に指導します。また、危機意識を高め、安全に配慮した学校生活を送ることができるよう、学校教職員一丸となって、取り組みます。親も皆さんの成長を期待、楽しみにしておられるし、地域の方々は地域の一員として迎えて来ています。その中で最も大切なのが、話をきちんと聞く、素直な心という事です。素直な心を持つ、この心構なくして、実りある学校生活を送ることはできないと断言できます。他者の言葉を一度自分の中に受け入れる器(うつわ)を持てる人に成長してください。

二つ目が、ルールを守ることです。本校のように学年が300名を超え、全校生徒が1,000名に近い大規模校となれば、自らを律するためのルールも大切なものになります。中学校時代は、皆さんが大人になるための準備をする三年間です。自分自身を大切にすることとは、「自分に厳しくあれ」ということ。遊びたいときに遊び、やりたいことだけをやっていたら、成長はありません。大勢の仲間がいるからこそ、多様な価値観に触れ、切磋琢磨できる環境があります。勉強や部活動に励み、自分自身を鍛え、将来自分の生き方に、自信をもてるような大人を目指す、そんな三年間にしてもらいたいと思います。

三つ目は、さわやかな挨拶の徹底です。人生を送るうえで大切なものはたくさんあります。その中で重要なものは、自らの主張はしっかりとしながらも、相手の気持ちを理解することができる力、つまり対人関係を円滑に処理する力になります。その第一歩となるのが、さわやかな挨拶。誰に対しても、さわやかに挨拶をすることが、大切です。これを普通にできるようになれば、高い人格を持った魅力的な人間に、成長することが期待できるでしょう。

以上、三つのお願いをしました。皆さんの成長を期待しています。



「